

令和4年度第1回指宿市地域公共交通活性化協議会
議事要旨

1	日時	令和4年11月15日(火)14:30～	
2	開催場所	指宿市役所指宿庁舎 北側別館講堂	
3	出席者	鹿児島大学 鹿児島交通株式会社 山川タクシー 九州旅客鉄道株式会社 鹿児島支社 種子屋久高速船株式会社 株式会社なんきゅうドック 公益社団法人鹿児島県バス協会 一般社団法人鹿児島県タクシー協会 指宿市自治公民館連絡協議会 指宿市自治公民館連絡協議会 指宿市自治公民館連絡橋議会 九州運輸局鹿児島運輸支局 九州運輸局鹿児島運輸支局 私鉄鹿児島交通労働組合 指宿警察署 鹿児島県南薩地域振興局 鹿児島県南薩地域振興局 鹿児島県総合政策部 指宿市 指宿市 指宿市 指宿市 指宿市 指宿市	井上名誉教授 西常務取締役 水流支配人 前田副支社長 永谷所長代理 今村代表取締役会長 改元専務理事 別府指宿支部長 西村会長 岩本副会長 中川副会長 南首席運輸企画専門官 西村首席運輸企画専門官 岡執行委員長 徳山交通課長 下竹建設総務課長 四村河川港湾課長 肥後陸上交通係長 下吹越総務部長 野元産業振興部長 山元健康福祉部長 星倉建設部長 中島山川支所長 山下開聞支所長

4 議長選出

令和4年度第2回指宿市地域公共交通会議に引続き、井上委員が議長に任命。

5 議事に対する質疑及び採決結果

(1) 第1号議案 指宿市地域公共交通活性化協議規約(案)について

※質疑応答なし

《採決の結果、賛成多数で可決》

(2) 第2号議案 役員の選任について

役員立候補者がいないため、下記委員を事務局が選任。

- ・副会長 指宿市産業振興部 野元委員
- ・監事(2名) 指宿市自治公民館連絡協議会会長 西村委員
指宿市総務部 下吹越委員
- ・オブザーバー 九州運輸局交通企画課長 丹家 涼 様

《採決の結果、賛成多数で可決》

(3) 第3号議案 本年度事業計画及び収支予算案について

議長： 指宿市地域公共交通活性化協議会は、定例の会議プラス臨時の会議として考えればよいのか。

事務局： 活性化協議会は都度、定例的に行いたいと考えている。また、年2～3回程度を計画している。時期に関しては、委員のご都合を勘案しながら調整したいと考えている。

《採決の結果、賛成多数で可決》

6 その他

委員： 構想段階ではあるが、約2年後にたまたま箱温泉から砂湯里まで自動運転でバスなど走らせたいと考えている。また、5年後を目標に指宿駅から中央通り、海岸、砂楽の路線に自動運転のバスなど走らせたいと考えている。これについては、鹿児島国道事務所のバックアップを受ける予定である。

今後、自動運転に関してこの協議会を利用できる場合は、具体的に話し合いたいと思っている。

事務局： 自動運転については、来年度地域公共交通計画を策定する。多くの交通課題があるため、この協議会で話し合いたいと思っている。

委員： 指宿の公共交通について、さらに危機感をもたなければならないと考えている。最も重要なのは、大量輸送であるJRの利用促進を図る必要がある。また、インターネットなどを使って簡単に情報共有できるようにすべきである。

いぶすき産業まつり等のイベントを催す場合は、公共交通機関を利用していただくように、地域の方々の目線を変えなければならないと考える。高齢者の移動手段として、徒歩や自転車の延長線にタクシーやバスがあると考えると、歩きやすく移動しやすい町並みを長期的に

考える必要があると思う。指宿市民の利便性は少しずつ損なわれるのではと心配している。

委員： 活性化協議会では、地域の実情を踏まえたものである、持続可能であるという2点を兼ね備えた正確なことを話し合っていく必要がある。自動運転については、知る限り活性化協議会とイコールになっているケースはほとんどないと思う。自動運転のための協議会をつくっている例として福岡県と熊本県があるが、実証したいために行っている。四村委員の自動運転の話から、市の交通や観光と一体的に取り組みたいという話だと思うため、市の交通政策の観点から話し合っつけられる交通計画と自動運転が連動していなければならないと思う。